

■ 野島盆口説き 【地域素材を生かした道徳教育】

いろは口説き		口語訳	内容	
			小	中
い	いとけな 幼きをば 愛して通れ	幼い者こそかわいがってやりなさい。年とった人は敬い、無礼なことをしてはいけません。	2-(2)	
ろ	老は敬い 無礼をするな			
は	腹が立つとも 過言は言うな	たとえ腹が立つても、言い過ぎてはいけません。憎らしい相手もいいところを認めてあげなさい。	2-(4)	2-(5)
に	憎い仇は 生かして置きやれ			
ほ	誉められるとも 高慢するな	たとえほめられたとしても、いばってははいけません。相手が離れていっても、自分から心を開きましょう。	2-(4)	2-(5)
へ	隔てられるも 我が心から			
と	隣近所に 不都合するな	隣近所の人にけしからんことをしてはいけません。たとえ、親しい間柄でも相手の立場を考えて礼儀を大事にしなさい。(親しき仲にも礼儀あり)	2-(1)	
ち	近き中にも 又垣結われ			
り	理屈あるとも 皆まで言うな	たとえ筋道が通っていても、すべてを言いくるめてはいけません。相手によっては、大変な失敗をしてしまいますよ。	2-(4)	2-(5)
ぬ	主に依っては 大事が起きる			
る	流浪者とは 言われぬように	あてが無くさまよっている人と思われぬようにしなさい。人の一生というのは終わってみなければ自分自身にも分からないものです。(何か一つのことをやりとげなさい。根を張って生きなさい。?)	1-(2)	
を	終わり果てねば 我が身は知れぬ			
わ	若い盛りの その道々に	若くて勢いのある時こそ その時その時立ち止まって家業こそ大事なものと心に留めておきなさい。	4-(5)	4-(6)
か	家業大事と 心に掛きやれ			
よ	良きも悪しきも 人事言うな	良いことでも良くないことでも、他人のことをあれこれ言うてはなりません。たとえ身分の高い人も、またそうでない人も。	4-(1)	
た	仮令高きも 又いやしきも			
れ	礼儀正しく 世間を渡れ	礼儀正しく世の中の人とつきあっていきましょう。人とのつきあいをおろそかにしているとと言われるないように。	2-(1)	
そ	粗略者とは 言われぬように			
つ	常の身持ちが 大事でござる	日頃の行いがとても大事ですよ。寝ても覚めても、ただ正直に生きなさい。	1-(1)	
ね	寝ても覚めても 唯正直に			
な	何は無くても 世を恨むなよ	たとえほしい物が手に入らなくても、世の中を恨んでははいけませんよ。いつも楽な暮らしをしている人はいません。欲を出すと、かえって悪い結果が出て、貧乏するものですよ。	1-(4)	
ら	楽な暮らしを する人はない			
む	報い報いで 貧乏するよ	心が浮ついていて気が変わりやすい者だと言われぬようにしなさい。目の前の苦しいことや悩みを思うより、少し先のことを考えて希望を持ち続け、その実現を願いなさい。	1-(2)	
う	浮気者とは 言われぬように			
ゐ	今の難儀を 思えば少し	親を大事にし、親不孝なことをしてはいけません。	4-(5)	4-(6)
の	後の世を又 願わせ給え			
お	親を大事に 不幸をするな	わが国の決まりや約束を破ってはいけませんよ。自分の務めを果たすのも、ただ正直に行いなさい。	4-(1)	
く	国の掟に 背かぬように			
や	役をするとも 唯正直に	欲に目がくらんで欲張りすぎると、この世にいるうちに地獄に落ちるような目にありますよ。	1-(1)	
ま	眼暗めて 貪欲すれば			
け	間の地獄に この世で落ちる	世の中にはいろんなけがれや過ちがありますが、必ずよいことやご利益があるものですよ。	1-(4)	
ふ	不浄落度の 在るその中で			
こ	此処に一つの 功德がござる	世の中の行うべき正しい道がどうして分からないことがありますか。いいえ、分かるはずですよ。天はあなたのすることを必ず見ていますよ。	1-(1)	
え	得知らざるかや世間の義理を			
て	天の報いは まねがれませぬ	たとえ、まねでも悪いことはしてはいけません。	4-(1)	
あ	悪な事なら 真似にもするな			
さ	酒は呑んでも過ごさぬように	酒は呑んでも呑み過ぎないようにしなさい。人の意見をよく聞いて慎むことも大事です。正しい道を行うために。	2-(4)	
き	聞いてたしなめ世間の義理を			
ゆ	油断する身は 損する元よ	1-(1)		
め	滅駄矢鱈に 貪欲すれば	むやみに物をほしがあると、自分の持っているものも失いさらには他人の大事な物も失ってしまいますよ。	1-(1)	
み	身をも丸干し 人様も干す			
し	嫉妬心は 大事に持ちやれ	だれでも人を恨んだりうらやましく思う心があることを忘れてはいけませんよ。あなたが派手な暮らしをしすぎると人の嫉妬心をかかって苦労してしまいますよ。	1-(1)	
ゑ	栄耀過ぎるは 苦を見る元よ			
ひ	日頃心を 尽くして習え	日頃から一生懸命他の人に教えてもらいなさい。知らないということは、生きていく知恵をもっていないということですよ。	1-(5)	1-(4)
も	物を知らぬは 無知盲目よ			
せ	世間を知らぬは我が身を知らぬ	世の中を知らないということは、自分自身も知らないということですよ。しっかりと心をこめて人様から習いなさい。それは、都会でも田舎でもみな同じことですよ。	1-(5)	1-(4)
す	ずんど心を 尽くして習え			
京	京も田舎も 皆同じこと			